

株主の皆様におかれましては、日ごろからのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
平成26年度上半期決算の概要や今後のJFEグループの取り組みについて、ご報告申し上げます。

#### ■平成26年度上半期の業績について

わが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が残るものの、緩やかな回復基調が続いています。一方で、世界経済を巡る不確実性は引き続きわが国の景気の下振れリスクとなっています。

そのような状況のもと、各事業ともに収益改善に取り組んだ結果、グループ連結での上半期の業績は、経常利益は919億円、純利益は523億円となりました。

こうした上半期の収益状況を受けまして、中間配当につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。

#### ■平成26年度の業績見通しについて

平成26年度の連結業績予想は、売上高3兆9,000億円、経常利益は2,000億円、純利益は1,200億円と、前期に比べ増収・増益となる見通しです。

鉄鋼事業では、国内の鉄鋼需要は緩やかな景気回復を受け堅調に推移すると想定しています。一方、海外は円安による輸出環境の改善があるものの、慢性的な供給過剰により厳しい状

況が継続すると想定しています。このような状況のもと、市況の動向を注視した生産・販売活動に努めるとともに、継続的な収益改善活動に取り組むことによって、主原料価格の下落による棚卸資産評価差等の減益要因があるものの、経常利益は1,600億円と前年度に比べて増益となる見通しです。

エンジニアリング事業は、厳しい競争のもと積極的な受注拡大に努め、160億円の経常利益となる見通しです。

商社事業は、国内での鉄鋼製品販売が堅調に推移し、240億円の経常利益となる見通しです。

#### ■JFEグループの取り組みについて

JFEスチール(株)は、国内においては、引き続き製造基盤の整備とコスト削減に取り組むことによって、安定的な利益確保を目指します。また、海外においては、需要の増加が見込まれる分野に注力し、利益の拡大を図ります。自動車用鋼板分野においては東南アジアを中心に製造拠点拡充を進めるとともに、米国で電縫管製造設備を増強するなどエネルギー分野における需要にも対応してまいります。

JFEエンジニアリング(株)は、過去最高水準にある受注済プロジェクトの着実な遂行と、さらなる事業および収益の拡大を目指してまいります。海外への積極展開に向け、M&Aによりアジアで設計製作の現地化を進めるとともに、欧州では環境プラント企業の買収につき合意いたしました。

JFE商事(株)は、国内外の拠点網の強化、拡充を進めるとともに、JFEグループとしての戦略共有を通じて収益拡大を図ってまいります。

JFEグループは、引き続き企業としての持続的成長を図り、すべてのステークホルダーの皆様にとっての企業価値最大化に努めてまいります。

株主の皆様には、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

代表取締役社長(CEO)

馬田 一



■ 会社概要

名称(商号) JFE(ジェイ エフ イー)ホールディングス株式会社  
[英文名称: JFE Holdings, Inc.]

本店所在地 〒100-0011  
東京都千代田区内幸町二丁目2番3号  
電話 03(3597)4321(代表)

設立 平成14年9月27日

資本金 1,471億円

従業員数 連結:58,430名 単独:37名

株式事務のご案内

決算期 3月31日

定時株主総会 6月に開催

定時株主総会および  
剰余金の配当基準日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

1単元の株式の数 100株

株主名簿管理人および  
特別口座管理機関 〒103-8670  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324

特別口座に関する  
事務取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほ証券株式会社  
本店および全国各支店

公告の方法 電子公告

【アドレス】 <http://www.jfe-holdings.co.jp/>

■ 株式の現況

発行可能株式総数 2,298,000,000株

発行済株式総数 614,438,399株

株主数 279,585名

■ 経営体制

取締役

代表取締役社長 馬田 一  
代表取締役 林田 英治  
代表取締役 岡田 伸一  
取締役(社外) 芦田 昭充  
取締役(社外) 前田 正史

監査役

監査役(常勤) 笹本 前雄  
監査役(常勤) 黒川 康  
監査役(社外) 伊丹 敬之  
監査役(社外) 大八木 成男

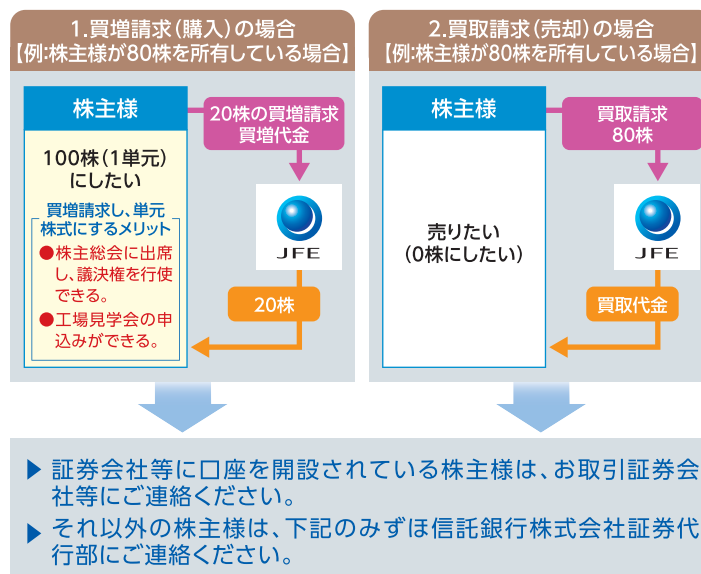
執行役員

社長 馬田 一 CEO(最高経営責任者)  
副社長 岡田 伸一 総務部、経理部の統括 企画部、財務・IR部の担当  
専務 山村 康 経理部の担当  
常務 寺畑 雅史 総務部の担当

株式のお手続きに関するお知らせ

単元未満株式の買増・買取制度について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場で売買はできませんが、当社に対して100株(1単元)となるよう買増請求(購入)することができます。または単元未満株式を当社に対して買取請求(売却)することができます。

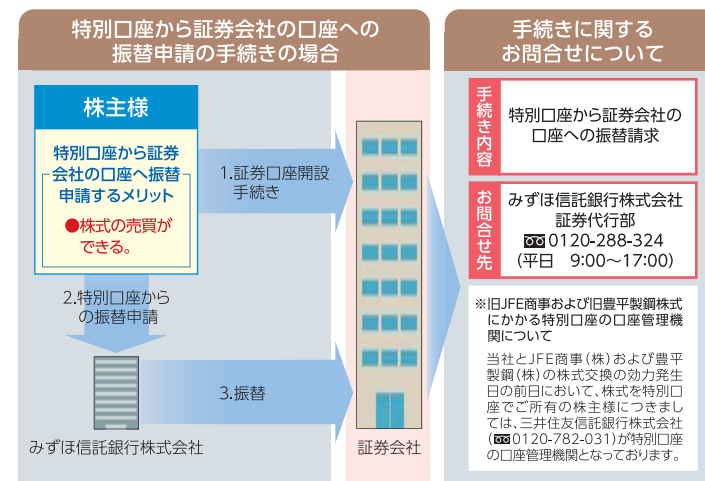


みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-288-324(平日9:00~17:00)

特別口座から証券会社等の口座への振替について

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式の当社への買増・買取請求を除く)ので、証券会社へ取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替える手続き(振替申請)をお勧めします。

※現在株券をお持ちの株主様や、以前株券を持っていたが現在所在が分からなくなった株主様は、特別口座で管理されている可能性がありますので、当社特別口座管理機関みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。



JFE ホールディングス 株式会社

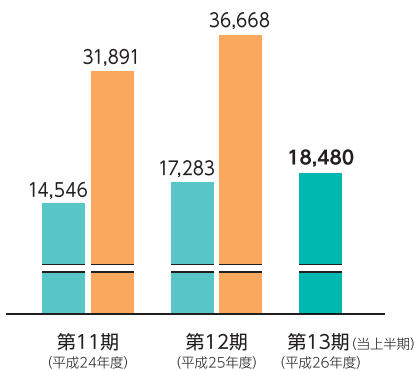
〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号  
ホームページアドレス <http://www.jfe-holdings.co.jp/>

# 連結財務ハイライト

■ 上半期 ■ 通期

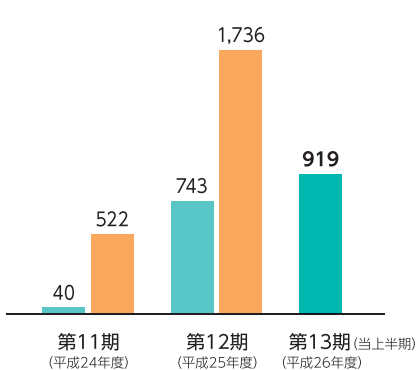
## 売上高

(単位: 億円)



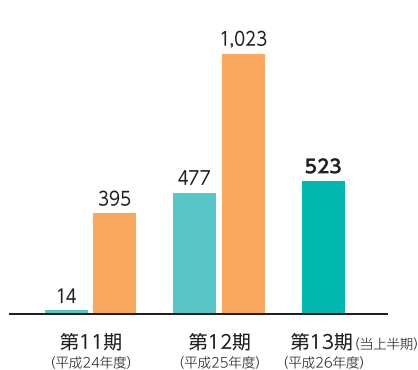
## 経常利益

(単位: 億円)



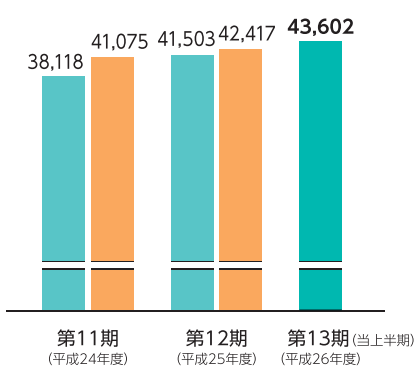
## 純利益

(単位: 億円)



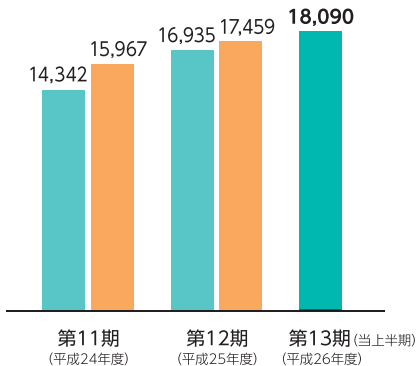
## 総資産

(単位: 億円)



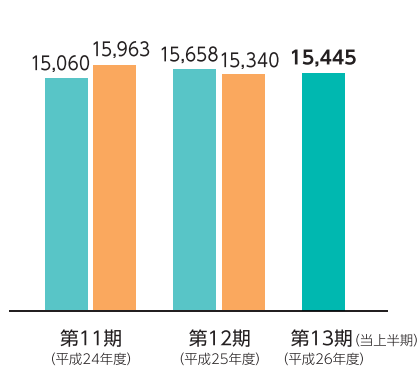
## 純資産

(単位: 億円)



## 借入金・社債等残高

(単位: 億円)



## 財務指標(通期見通し)

ROS<sup>※1</sup>

5.1%

ROA<sup>※2</sup>

5.0%

自己資本比率

40.4%  
※当上半期実績

D/Eレシオ(格付けベース)<sup>※3</sup>

63.6%

※1 ROS=経常利益/売上高

※2 ROA=(経常利益+支払利息)/総資産

※3 D/Eレシオ(格付けベース)=借入金・社債等残高/自己資本(格付け評価上資本性を併せ持つ負債(3,000億円)について、格付機関による評価により、75%を資本とみなした場合)

# 事業セグメント別情報(平成26年9月30日現在)

## 鉄鋼事業



〈当上半期の業績〉

▶粗鋼生産量	1,588万t
▶売上高	1兆4,241億円
▶経常利益	776億円

## JFEスチール株式会社

代表者 代表取締役社長 林田 英治

従業員数 44,078名\*連結

事業内容 各種鉄鋼製品、鋼材加工製品、原材料等の製造・販売、ならびに運輸業および設備保全・工事等の周辺事業

生産拠点 東日本製鉄所  
(千葉地区・京浜地区)  
西日本製鉄所  
(倉敷地区・福山地区)  
知多製造所

## エンジニアリング事業



〈当上半期の業績〉

▶売上高	1,446億円
▶経常利益	6億円

## JFEエンジニアリング株式会社

代表者 代表取締役社長 狩野 久宣

従業員数 7,985名\*連結

事業内容 エネルギー、都市環境、リサイクル、鋼構造、産業機械等に関するエンジニアリング事業

生産拠点 鶴見製作所、津製作所

## 商社事業



〈当上半期の業績〉

▶売上高	9,462億円
▶経常利益	114億円

## JFE商事株式会社

代表者 代表取締役社長 矢島 勉

従業員数 6,330名\*連結

事業内容 鉄鋼製品、製鉄原材料、非鉄金属製品、食品等の仕入、加工および販売

## 鉄鋼事業

Steel business

JFEスチール株式会社



### TOPICS

## 01 米・California Steel Industries社 電縫管製造設備が稼働開始



▲電縫管製造設備

JFEスチール(株)が50%出資する米国の鉄鋼メーカーであるCalifornia Steel Industries社(以下CSI社)は、エネルギー分野向けの鋼管需要の拡大および高級化に対応すべく、本年8月にNo.2電縫管製造設備を稼働させました。今回の増強工事によって同社の電縫管製造能力は2.6倍になり、また、製造可能範囲も大幅に拡大し、さらなる厚肉化・高強度化にも対応可能となりました。

世界のエネルギー需要は拡大を続けており、天然ガスおよび石油の開発地域や開発環境

は多様化しています。引き続きJFEスチール(株)やCSI社の高機能な鋼管製品の供給を通じて、世界の資源・エネルギー開発に貢献してまいります。

### TOPICS

02

## 「2014 R&D 100 Awards」を2年連続で受賞 (省資源型高耐熱ステンレス鋼 JFE-TF1の開発)



▲2014 R&D 100 Awards  
を2年連続受賞

JFEスチール(株)が開発した「省資源型高耐熱ステンレス鋼 JFE-TF1」が、米国技術情報誌「R&D Magazine」が主催する「2014 R&D 100 Awards」に選出されました。同賞は毎年その前年に販売された製品の中から最も技術的に優れた100の製品を表彰するもので、「技術革新のアカデミー賞」とも言われています。同社の同賞受賞は昨年の「耐震ラインパイプHIPER®」に続いて2年連続となります。

本商品は、従来必要とされていたモリブデンなどのレアメタルを添加せずに、高温耐久性および高加工性を実現したステンレス鋼板で、自動車の排気系部品で採用が広がっています。今後とも、最先端の高機能商品を提供してまいります。

## エンジニアリング事業

Engineering business

JFEエンジニアリング株式会社



### TOPICS 北海道でスマートアグリ事業を開始

JFEエンジニアリング(株)は、エンジニアリングの対象領域を農業にも拡大し、天然ガスやバイオマスエネルギー源とするトリジェネレーションシステム(電気・熱・CO<sub>2</sub>の併給)にオランダ型の高度栽培制御システムを組み合わせ、高効率栽培を実現したスマートアグリ事業に参入しました。本年8月にはグループ会社のJファーム苫小牧(株)が、苫小牧市の第1号プラントで生産出荷を開始しています。今後は、横浜本社の試験温室にて研究開発を進め、高糖度トマトなどの高付加価値農作物の生産も進めます。



▲スマートアグリプラント

JFEエンジニアリング(株)は生産性拡大を図る農業事業者にも本プラントを活用した生産モデルを提案するとともに、工場への併設など廃エネルギーの有効活用をサポートします。また、国内および東南アジアやロシア、中東などの地域にもソリューション提案を積極的に展開し、事業拡大を図ってまいります。

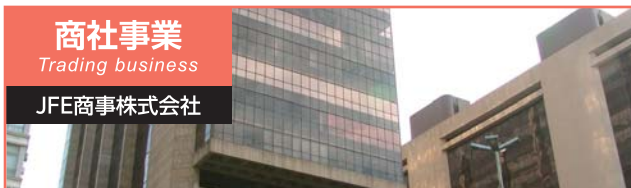


▲施設内部

## 商社事業

Trading business

JFE商事株式会社



### TOPICS JFE商事(株)の新規海外拠点開設

JFE商事(株)は海外拠点の拡大を推し進めています。昨年にはヤンゴン支店、イスタンブール駐在員事務所を開設、さらにJFEスチール(株)が技術供与する福建福欣特殊鋼有限公司の生産するステンレス製品拡販を促進するため、上海JFE商事会社漳州支店を設立しました。

本年に入っても、拠点開設を継続。1月には、メキシコシティ支店、7月にはタイ・レムチャバン支店を開設しました。そして、11月には、世界で36拠点目となるブラジル・リオデジャネイロに支店を設立しました。

JFE商事(株)は、JFEグループにおける先駆けとして新規市場における鋼材需要の捕捉を促進してまいります。

## ジャパン マリンユナイテッド(株)

ジャパン マリンユナイテッド(株)は、当社と(株)IHIがそれぞれ45.93%を出資する持分法適用会社です。

### 最高レベルの燃費効率を実現した 14,000TEU型大型コンテナ船を受注

ジャパン マリンユナイテッド(株)は、パナマ船主との間で14,000TEU大型コンテナ船8隻の建造契約を締結しました。8隻とも日本郵船(株)に定期用船される予定です。

今回契約した船は、コンテナ船の設計・建造で蓄積してきた技術ノウハウをベースとし、お客様のニーズに最大限に応えるべく開発した高効率な船型を採用しています。あわせて本船に最適なタービンを採用し、省エネルギー付加物を搭載することで、これまでに建造された同型サイズでは業界最高レベルの燃費効率を実現した設計を行いました。本船の建造は呉事業所で行い、2016年から2018年にかけて順次竣工予定です。



▲コンテナ船